

平成 30 年度事業報告

公益財団法人交通文化振興財団

平成 30 年度は、京都鉄道博物館が 3 年目に入り、入館者の安定的な確保のため魅力ある博物館活動を行うとともに、安全安心な施設運営を実現するべく、博物館運営に携わる関係者全てが連携・協力し、永続的な博物館運営の基盤の確実な整備を行った。しかしながら、大阪北部地震や夏季の酷暑及び台風 21 号等の自然災害による影響もあり、入館者を大きく減らし平成 30 年度の有料入館者数は 855 千人に留まり、安定的な入館者確保には大きな課題を残した。

事務局においては、交通資料調査センターでの資料の収集、保存、調査、研究業務を継続的に行うとともに、デジタルアーカイブ「交通文化振興財団デジタル資料館」の運営を開始し、資料の散逸防止と後世への継承に努めた。また、SNS や事務局ブログを活用し、情報発信や寄附金懇話活動を実施した。

I 博物館運営等を通じた交通文化の振興

1 京都鉄道博物館

(1) 常設展示

ア 新規展示

- ①本館 2 階「鉄道と文化」に平成鉄道今昔図展示-博物館実習成果展示-（7/28～31）
- ②本館 2 階「鉄道と文化」に鉄道ジオラマ展示
- ③本館 2 階「昔の駅」に丹波口駅駅名標展示（3/12）
- ④本館 2 階「鉄道ジオラマ」の新演出「はんなり京の四季」開始（3/16）
- ⑤本館 1 階「車両工場」での車両展示
「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」（6/16、17）、「キヤ 143 形」（8/22～26）、「ホキ 800 形」（11/13～12/2）、「キハ 40 形（天空の城 竹田城跡号）」（12/22～25）、「EF64 形」（1/19～27）、「アンパンマン トロッコ列車」（2/2～3/3）、「213 系（ラ・マル・ド・ボア）」（2/9～11）、「227 系」（3/27～31）

イ 展示品整備

鉄道ジオラマの模型車両のモーター・台車の整備調整、「列車を安全に走らせよう」の車両及び線路メンテナンス、運転シミュレーターのメンテナンス、ミゼット車内清掃、DD14 形模型修繕、489 系電車前照灯交換、軌道自転車ブレーキ取替え、101 形電車モックアップ足場隙間埋め作業、スロネフ 25 手摺塗裝修繕、マロネフ 1 等寝台車のカーテン修繕、体験装置類のメンテナンス 等

ウ 施設、設備工事

- ①消防設備、空気環境測定、水質検査測定等の定期点検対応
- ②館内案内サインの修正・追加
- ③本館 1 階車両工場大扉補修工事（5/9）
- ④連絡デッキ下部インターロッキング陥没補修作業（8/8）
- ⑤エントランスに新駅カウントダウンタイマー設置（12/15）
- ⑥本館 3 階特別収蔵庫の加湿除湿機修繕（12/27）

- ⑦本館2階鉄道ジオラマ機器改修作業（2/12～14）
- ⑧旧二条駅舎屋根・漆喰修繕作業（3/13）
- ⑨多言語対応QRコード施工作業（3/15）
- ⑩トワイライトプラザ前芝張替作業（3/20～27）

(2) 企画展、資料展

ア 企画展等

- ① 明治150年記念事業 企画展「明治の鉄道人物伝～鉄道の夜明けを支えた14人の男たち～」
（5/19～7/16）

明治150年に関連して、明治期の鉄道普及に尽力した14人の代表的な人物を取上げ、「鉄道の日本導入」「鉄道技術の国産化」「土木工事の展開」「車両開発」「鉄道普及」をテーマに、所蔵図面や写真とともに他館から「九鬼隆範資料」「秋本春三関係資料」等の貴重な資料を借用し展示した。

- ② 明治150年記念事業 企画展「Love Tabi展 ～時代とハートを動かす列車旅～」
（9/22～1/29）

鉄道が時代とともに「旅」に変化をもたらしたことに着目し、それぞれの時代の旅の楽しみ方を様々な視点から当時の資料を用いて紹介した。また、展示と合わせてJR各社の観光列車がVR画像で楽しめるイベントを開催した。

イ 資料展等

- ① 「鉄道連絡船」（4/7～7/7）
- ② 「鉄道と時」（7/14～9/9）※ICOM京都大会2019プレイベント参加展
- ③ 「祝・鉄道トンネル貫通しましてん」（9/15～12/9）
- ④ 「飾りまし展」（12/15～1/20）
- ⑤ 「京のむかしの鉄道おみやげ展」（1/26～4/7）

ウ 部外協力展

- ①フジフィルム「50,000人の写真展」（10/27～11/4）

(3) イベント等

- ア 「新幹線：エヴァンゲリオンプロジェクト×京都鉄道博物館 500 TYPE EVA展」（1/11～5/7）
平成29年度からの継続

- イ グランドオープン2周年記念セレモニー（4/29）

- ウ 特別展「新幹線変形ロボシンカリオン×京都鉄道博物館」（7/21～9/9）

当館が作品中に登場するTVアニメ新幹線変形ロボ シンカリオンプロジェクトと連携し、パネル・ジオラマ・シンカリオンE5はやぶさ等身大ヘッド・関連玩具などを展示。

- エ 「トレインヘッドマーク トラベルスタンプラリー」（9/22～1/29）

特急列車のヘッドマーク4種（特急「はと」、特急「かもめ」、特急「出雲」、特急「トワイライトエクスプレス」）を集めながら館内を巡るスタンプラリーを開催した。

- オ 「旅Tabi 寄席」（11/3、12/15、1/12）

笑福亭鶴笑氏による「旅」をテーマとした寄席（パペット落語）を実施した。

- カ 「GO!GO!きかんしゃトーマスとなかまたち」(1/17～5/7)
イギリスの鉄道をモチーフにした「きかんしゃトーマス」の世界が楽しめるイベントを開催した。
- キ 特別展「アンパンマン列車だいしゅうごう!展」(2/2～3/3)
アンパンマン列車の車両工場での展示にあわせて、企画展示室で同列車を紹介するパネル等を展示した。
- ク 「おかげさまで60年 まるごとプラレール展」(3/9～5/7)
長年子供たちに親しまれてきた鉄道玩具であるプラレールを紹介する展示を開催した。
- ケ 新駅開業記念チェロコンサート(3/16)
梅小路京都西駅開業を記念したコンサートを開催した。
- コ 「京の七夕」に協力(8/4、5、11、12)
梅小路公園エリアほかで開催される「京の七夕」イベントに協力し、夜間の延長開館を行った。
- サ 「下京サマーフェスタ」に協力(8/25)
地域連携活動としてスーパーボールすくいを出展した。
- シ 「梅小路 キッズアートキャンパス2018」に協力(11/3)
地域連携活動として手回し発電機による鉄道模型の走行体験等を実施した。
- ス 「ノートルダム学院小学校学院祭」に協力(10/21)
学校との連携活動として手回し発電機による鉄道模型の走行体験を実施した。
- セ 「第28回下京ふれ愛ひろば」に協力(11/11)
地域連携活動として手回し発電機による鉄道模型の走行体験等を実施した。
- ソ 科博連サイエンスフェスティバルに協力(2/3 於:京都青少年科学センター)
京都市青少年科学センターにて科学の振興を目的に、手回し発電機による鉄道模型の走行体験を実施した。
- タ 「京都・冬の光宴2019」に協力(2/2、3、10、11)
梅小路公園エリアほかで開催される冬の光宴に協力し、夜間の延長開館を行った。
- チ 各種ワークショップ等の実施
車両解説セミナー:「C62形蒸気機関車」(4/14、15)、「カニ24形・オハ25形」(5/12、13)
「車掌車のヒミツ ヨ5008のすべて」(2/16、17)
展示品解説セミナー:「硬券印刷」(6/23、24、11/17、18)、「通票閉塞器」(9/8、9)
「昔の駅の駅員体験」(7/21、22)
工作教室:親と子の理科工作教室「新幹線のお話とペーパーモデルづくり」(8/4)、夏の工作「SLミニナンバープレートを作ろう!」(8/8～10) 鉄道アートセミナー「色と形でアートな缶バッジ!」(3/16、17)
その他:講演会「保津川のりもの物語」(10/27)、収蔵映像上映会「見るTAB I!!～旅にまつわる映画とお話し」(10/20、21)、収蔵映像上映会「雪の鉄道」(1/13、14)

(4) 定例行事・活動

- ア 鉄道ジオラマの運転 : 1,960回
イ SLスチーム号の運転: 運転回数 3,333回、乗車人員 264,060人(約79人/回)

(5) 広告・宣伝・誘致活動

項 目	数 量
ア ポスターの掲出	
(ア) JR 駅貼り	(5回) 4,946 枚
(イ) 近畿圏主要博物館・交通関係博物館	(5回) 21 枚
イ 催し物案内チラシの配布	
(ア) 近畿圏の JR 駅	(0回) 0 枚
(イ) 近畿圏主要博物館・交通関係博物館	(6回) 101,000 枚
ウ マスコミへのパブリシティの配布 (関係記者クラブ、出版関係各社等)	毎月合計約 70 箇所へ配布 41 回
エ 誘致活動	
(ア) ホームページアクセス件数 (2018.4.1~2019.3.31)	1,923,867 件 (1日平均5,271件)
(イ) フェイスブック投稿件数	161 件(1ヶ月平均13件)
(ウ) マスコミ取材対応	131 件
(エ) LINE@による情報配信	
・お友達登録数	57,595 人 (年度末総累計)
・情報配信 (クーポン配信含む)	25 回

(6) 教育普及活動

ア 教育普及活動の実施

- ・職場体験学習：京都市立栗陵中学校 他 5 校計 16 名 (5/22~25、5/29~6/1、11/5~9)
- ・出張授業：亀岡市立東別院小学校 (1/17)
- ・博物館実習や大学等の研修の受入れ：4 校 計 4 名
- ・博学連携展示 立命館大学鉄道研究会研究発表展示「滋賀県の鉄道」開催 (12/25~2/9)

イ 館内視察等への対応

- ・台湾鉄道局 (7/20)
- ・インド鉄道省 (8/3、11/20、2/19)
- ・上海鉄道局 (10/26)
- ・関西生産性本部 (11/30)
- ・独立行政法人造幣局 (1/10)

(7) 博物館関係コミュニケーション活動等

- ア 全国科学博物館協議会「平成 30 年度第 1 回総会」出席 (7/5、6 於：(東京都) 国立科学博物館)
- イ 日本博物館協会「平成 30 年度全国博物館大会」出席 (11/28~30 於：(東京都) 東京文化会館)
- ウ 全国科学博物館協議会「平成 30 年度第 2 回総会」出席 (2/14、15 於：(愛知県) 豊橋市自然史博物館)
- エ 鉄道博物館リニューアルオープン式典出席 (7/4)
- オ 原鉄道模型博物館との友好協定調印 (1/26)

(8) 入館者数の状況 (入館者数の詳細は「別表1」のとおり。)

(単位：千人)

項 目	京都鉄道博物館
平成30年度	855

2 事務局における文化遺産調査及び交通資料の収集・保存に関する事項

交通に関わる文化遺産の調査や歴史資料の収集・保存については、交通文化の継承と資料の散逸防止及び今後の公益活動の充実のため、財団事務局内の交通資料調査センターにおいて引き続き活動を実施した。平成30年度においては、下記のとおり交通に関わる文化遺産の調査及び交通資料の収集、保存、公開を行った。

(1) 交通関係歴史資料の収集・保存

交通に関わる歴史資料を適切な環境で保存、管理するため、収集、整理・整備を行った。また、写真資料を中心に収蔵資料のデジタル化作業を実施した。また、登録データベースシステムとデジタルアーカイブとの連携のため、データベースシステムの一部改修を実施した。

- ・ 図書・資料の購入 169 点
- ・ 受贈 9 件 4,680 点
- ・ 資料・図書の整理・登録 資料 4,399 点 図書 1,736 点
- ・ 資料のデジタル化 30,169 点

(2) デジタルアーカイブの運営

交通資料調査センターの所蔵資料を web にて公開する、デジタルアーカイブ「交通文化振興財団デジタル資料館」の公開を開始し、掲載データの追加等を実施した。

公開日 平成30年4月2日

年間アクセス数 43,604 件

平成30年度末掲載点数 6,163 点

開設時掲載点数 3,058 点

年度内追加点数 3,105 点

(3) 文化遺産調査

日本各地に残された交通に関する施設や建造物、車両、文書等の文化遺産について、文化遺産の現状確認と来歴や諸元等を記録保存するための現地調査及び文献による事前事後調査を実施し、文化遺産の後世への継承に努めた。また、自主調査だけではなく、外部団体からの依頼による調査についても実施した。 調査事物：23 件

(4) その他

- ・ 財団ホームページの「事務局ブログ」及び、facebook、twitter を活用し、調査・資料収集の様子、収蔵資料に関する情報発信を行った。
- ・ 事務局内に図書の閲覧スペースを設置し、閲覧対応及び調査・研究への協力を実施した。
- ・ 外部有識者（大学教員）に交通資料調査センター特別調査員を委嘱し、活動における公益性の担保及び内容の充実を図るとともに、共同調査等を通じてセンター所属員の調査スキル向上に努めた。
- ・ 日本鉄道保存協会総会・見学会に参加し、各地の保存団体との交流・情報交換を進めた。

II 財団運営に関する事項

1 本年度の役員等の異動

(1) 評議員

《退任》	緒方 文人	以上	平成 30 年 6 月 6 日付
《新任》	伊勢 正文	以上	平成 30 年 6 月 6 日付
《退任》	斎藤 峻彦	以上	平成 30 年 9 月 8 日付

(2) 理事

《退任》	北野 眞、山村 晋一	以上	平成 30 年 6 月 6 日付
《新任》	高野 光司、福島 純	以上	平成 30 年 6 月 6 日付

(3) 監事

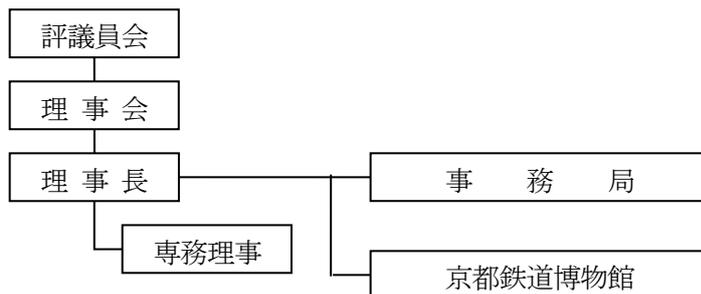
《退任》	中西 豊	以上	平成 30 年 6 月 6 日付
《新任》	藤原 嘉人	以上	平成 30 年 6 月 6 日付

平成 31 年 3 月 31 日現在の評議員、理事、監事、顧問は、[別表 2]のとおりである。

2 財団組織

(1) 組織

(平成 31 年 3 月 31 日現在)



(2) 構成員

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

事業所名	職員	嘱託	計
事務局	3	—	3
京都鉄道博物館	17	—	17

- ・役員を除く。
- ・京都鉄道博物館の職員のうち 3 名は J R 西日本からの出向者。
- ・京都鉄道博物館の職員のうち 4 名は事務局兼務。
- ・上記以外に事務局にて臨時雇用員を 3 名、京都鉄道博物館にて準職員 1 名、臨時雇用員 2 名を雇用している。

(3) 会議

ア 評議員会

第 14 回評議員会 (定時評議員会)

- (ア) 日 時 平成 30 年 6 月 6 日
(イ) 場 所 ホテルグランヴィア大阪
(ウ) 目的事項

① 決議事項

- 第 1 号議案 平成 29 年度決算の件
第 2 号議案 評議員 1 名選任の件
第 3 号議案 理事 2 名選任の件
第 4 号議案 監事 1 名選任の件
第 5 号議案 常勤理事の報酬額の決定の件

② 報告事項

- 報告 1 平成 29 年度事業報告の件

イ 理事会

第 29 回理事会

- (ア) 日 時 平成 30 年 5 月 21 日
(イ) 場 所 ホテルグランヴィア大阪
(ウ) 目的事項

① 決議事項

- 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告の件
第 2 号議案 平成 29 年度決算の件
第 3 号議案 第 14 回評議員会（定時評議員会）の招集の件

② 報告事項

- 報告 1 職務執行状況報告の件
報告 2 西日本旅客鉄道株式会社に係る代表理事理事長の利益相反取引の報告の件
報告 3 資金運用報告の件

第 30 回理事会

- (ア) 日 時 平成 31 年 3 月 6 日
(イ) 場 所 ホテルグランヴィア大阪
(ウ) 目的事項

① 決議事項

- 第 1 号議案 2019 年度事業計画書の件
第 2 号議案 2019 年度収支予算書の件
第 3 号議案 2019 年度資金調達及び設備投資の見込みの件

② 報告事項

- 報告 1 職務執行状況報告の件

(4) 内閣府へ届出

- ・平成 30 年 6 月 29 日 事業報告等の提出

- 「平成 29 年度財産目録」「平成 29 年度貸借対照表」「平成 29 年度正味財産増減計算書」等
- ・平成 30 年 7 月 2 日 変更の届出（役員等の変更）
「役員等の名簿」「履歴事項全部証明書」等
 - ・平成 30 年 11 月 28 日 変更の届出（役員等の変更）
「役員等の名簿」「履歴事項全部証明書」等
 - ・平成 31 年 3 月 29 日 事業計画書等の提出
「2019 年度事業計画書」「2019 年度収支予算書」「2019 年度資金調達及び設備投資の見込みについて」、「第 30 回理事会議事録の写し」

3 寄附金の受入れ

個人及び団体より寄附金の申し込みがあり、下記のとおり受入れた。

- ・一般寄附金 個人 8 件（うち継続寄附 4 件）
団体 1 件

4 その他

(1) 財団ホームページの改訂

デジタルアーカイブ公開にあわせてリンクを掲載

(2) 財団事務局ブログ運営

- ・更新 49 回、年度累計 34, 858PV

(6) 寄附金の懇話活動

- ・ホームページ及び SNS による寄附お願いの掲載・発信
- ・団体、個人へのパンフレットの配布
- ・ファンドレイジングサイトへの情報掲載
- ・寄付月間（12 月）の賛同パートナーへ登録し、期間中、ブログ、SNS 等での周知、パンフレットの送付等の懇話活動を実施。
- ・日本鉄道保存協会総会にてパンフレットを配布（9 月）

III 関連事業

博物館来館者の利便に資するとともに、当法人が健全な発展を図るための収益事業として、京都鉄道博物館にて鉄道に関する各種のグッズ、土産品、飲食物などの販売を行い、下記の収益を得た。

単位：円

項 目	物品販売収入	営業料収入	計
金 額	5, 565, 300	24, 671, 769	30, 237, 069

[別表1]

平成30年4月1日～平成31年3月31日

	種 別		平成30年度 (千人)
京都鉄道博物館	個人	大 人	550.8
		大学生・高校生	22.6
		中学生・小学生	86.7
		幼 児	112.1
		計	772.2
	団 体	大 人	33.2
		大学生・高校生	3.0
		中学生・小学生	25.8
		幼 児	20.7
		計	82.7
	合 計		854.9

[別表 2]

評 議 員 名 簿

氏 名	現 職
伊勢正文	西日本旅客鉄道株式会社 執行役員総合企画本部副本部長
稲見光俊	公益財団法人鉄道総合技術研究所 監事
小田 昇	関西鉄道協会 専務理事
坂田正行	公益財団法人 J R 西日本あんしん社会財団 特別参与
松木 茂	東日本旅客鉄道株式会社 常務取締役

理 事 名 簿

役 職	常勤 ・非常勤	氏 名	現 職
理 事 長	非常勤	来島達夫	西日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長
専務理事	常勤	三浦英之	公益財団法人交通文化振興財団 専務理事
理 事	非常勤	奥田 仁	日本貨物鉄道株式会社 経営統括本部総務部長
理 事	非常勤	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会 専務理事
理 事	非常勤	白石敏男	東日本旅客鉄道株式会社 執行役員総務部長
理 事	非常勤	高野光司	公益財団法人日本交通公社 理事
理 事	非常勤	福島 純	西日本旅客鉄道株式会社 執行役員広報部長

監 事 名 簿

役 職	常勤 ・非常勤	氏名	現 職
監 事	非常勤	竹山健二	公認会計士
監 事	非常勤	藤原嘉人	西日本旅客鉄道株式会社 執行役員財務部長

顧 問 名 簿

氏 名	現 職
竹内哲夫	元 財団法人交通文化振興財団 会長

平成 31 年 3 月 31 日現在 五十音順 (敬称略)

平成 30 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。

令和元年 5 月

公益財団法人交通文化振興財団